

第39回日本海駅伝競走大会 開催要項

主催	一般財団法人鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社
特別協賛	倉吉市、湯梨浜町、三朝町、大山乳業農業協同組合
協賛	ミズノ、J A鳥取中央
特別後援	日本海ケーブルネットワーク
後援	鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取市、鳥取市教育委員会、倉吉市教育委員会、米子市、米子市教育委員会、境港市、境港市教育委員会、湯梨浜町、湯梨浜町教育委員会、三朝町教育委員会、鳥取県町村会、鳥取県中部町村会、鳥取県体育協会、鳥取短期大学、鳥取県高等学校体育連盟、倉吉商工会議所、鳥取県経済同友会、倉吉青年会議所、鳥取県観光連盟、倉吉市ホテル旅館組合、はわい温泉・東郷温泉旅館組合、三朝温泉旅館協同組合、関金温泉旅館組合、NHK鳥取放送局、B S S山陰放送、日本海テレビ、山陰中央テレビ、エフエム山陰、鳥取中央有線放送
協力団体	鳥取県警察本部、倉吉警察署、鳥取中部ふるさと広域連合消防局、鳥取県中部総合事務所県土整備局、倉吉・湯梨浜・三朝交通安全指導員連絡協議会、倉吉市スポーツ推進委員協議会、鳥取県中部医師会、駅伝応援おもてなしプロジェクト

1. 日時 2019年10月6日(日) 正午スタート

2. 監督会議 10月5日(土) 午後2時から

会場：倉吉未来中心・小ホール

(倉吉市駄経寺町212-5 TEL0858-23-5390)

※監督会議受付でナンバーカードを配布するので、必ず出席すること

※オーダー変更がある場合は、変更用紙(受付時に配布)に記入すること

※「くらよし女子駅伝」と同時開催

3. 開会式 10月5日(土) 午後3時から

会場：倉吉未来中心・大ホール(倉吉市駄経寺町212-5)

※「くらよし女子駅伝」と同時開催

4. 閉会式 10月6日(日) 午後3時30分～4時頃から

会場：倉吉市宮陸上競技場(倉吉市葵町 TEL0858-22-5674)

※「くらよし女子駅伝」とは別に行う

5. コース 倉吉市宮陸上競技場付設 倉吉打吹・東郷湖畔・三朝コース(日本陸連公認)

(倉吉市宮陸上競技場を発着点とし、湯梨浜、三朝を通過する42.195km)

6. 距離・区間 7区間 (計42.195km)
- | | | |
|----|----------|---|
| 1区 | 10km | 倉吉市宮陸上競技場—(倉吉駅前)—
湯梨浜町・めぐみのゆ公園前 |
| 2区 | 3km | めぐみのゆ公園前—鳥取県自動車運転免許試験場前 |
| 3区 | 8.1075km | 鳥取県自動車運転免許試験場前—
(出雲山展望台手前約300m付近折り返し)—めぐみのゆ公園前 |
| 4区 | 8.0875km | めぐみのゆ公園前—
(ル・サンテリオン東郷角交差点回り)—倉吉市・広栄町 |
| 5区 | 3.1km | 広栄町—三朝町・今泉交差点手前 |
| 6区 | 4.9km | 今泉交差点手前—(横手橋)—三朝町役場周辺 |
| 7区 | 5km | 三朝町役場周辺—倉吉市宮陸上競技場 |
- ※5区中継所の場所を昨年から一部変更

7. 部 門 高校部門 (高校総合の部・県内高校の部)

8. 参加資格 ※原則として、日本陸連に登録しているチーム
「高校部門」

- ①各高校に在籍するもの (高専は3年生まで)
- ②出発後2時間20分以内で完走できるチーム (県内高校は除く)

9. チーム 1チーム監督1名、選手12名の登録とする
※参加チームは各高校1チームのみとする
(但し、2017年度・第37回の本大会15位以内の高校、鳥取県内の高校のみA、Bの2チームを認める)

10. 競技規則
- ①2019年度日本陸上競技連盟規則に準じて行う
 - ②伴走車は一切認めない
 - ③ナンバーカードの番号は主催者が指定。タスキは主催者側で準備したものを使用する。
 - ④出発後2時間40分で競技を打ち切る。第4、第6中継所で関門規制を設け、それに達しないチームは繰り上げスタートとする。ただし、大幅な遅れがみられる場合は、他の中継所でも繰り上げスタートを行う場合がある
- ※関門規制は次の通り 第4中継所＝午後1時38分00秒
第6中継所＝午後2時05分00秒
- ⑤外国人留学生の参加については、2名以内とし出場については6区の1名とする

11. 参加費 高校部門 1チーム 15,000円 (消費税込み・申し込みと同時に納入すること)
※自然災害、事件、事故等により大会が中止となった場合、参加料は返還しない

12. 表彰 高校部門

(高校総合の部)

- ・優勝 …………… 優勝旗 (持ち回り)、メダル、賞状、副賞
- ・2位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・3位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・区間賞 …………… メダル、賞状、副賞
- ・優勝監督賞 …………… 盾

(県内高校の部)

- ・優勝 …………… カップ (持ち回り)、メダル、賞状、副賞
- ・2位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・3位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・区間賞 …………… メダル、賞状、副賞
- ・優勝監督賞 …………… 盾

(全部門を通じて)

- ・総合優勝監督賞 …… チャンピオンブレザー

13. 参加申し込み、及び締め切り日

提出書類	申込期日	提出方法
① 参加申込書	2019年8月22日 (木) 午後5時まで (必着)	電子メールのみ
② 参加料振込		所定の郵便振替用紙を利用 (振込手数料無料) または所定の郵便口座へ振り込む 加入者名(株)新日本海新聞社 口座番号 01470-7-8099
③ 弁当申込書	2019年8月22日 (木) ※最終変更は9月27日 (金)	電子メールのみ
④ 宿泊申込	2019年8月22日 (木)	インターネット ※詳細は別紙
⑤ オーダー表	2019年9月24日 (火)	電子メールのみ
⑥ 健康診断書 (所属高等学校長、監督、学校医 の押印が必要)	2019年10月5日 (土) 午後3時まで	事前に郵送または10月5日に持参
⑦ 最終オーダー表 (⑤のオーダー表から変更のある チームのみ)		10月5日監督会議受付に提出

<注意事項>

申込期日は必ず厳守してください。大会不参加の場合、参加料の返金はありません。必要事項の未記入など、提出書類に不備がある場合、再提出を求める場合があります

申し込み先 (宿泊申込を除く)

〒682-8505 鳥取県倉吉市上井町1丁目156 新日本海新聞社中部本社内駅伝事務局
TEL 0858(26)8340、FAX 0858(26)8310、E-mail k-jigyo@nnn.co.jp

※参加申込書は日本海新聞ホームページからダウンロードできます。

<http://www.nnn.co.jp/> ※7月上旬～（予定）

14. 宿 泊 宿泊斡旋を希望する場合は、同封の資料を参考にインターネットで申し込む
- ・ 宿泊設定期間 = 10月4日（金）～10月5日（土）の2日間
 - ・ 宿泊申込方法 = インターネット申込のみ
 - ・ 宿泊代金 = 1人6,160円～12,100円（施設ランクや宿泊内容等の条件により変動）
 - ・ 宿泊申込期間 = 7月17日（水）10:00～8月22日（木）23:59まで
- ※詳細は別紙ご確認ください

◎宿泊斡旋申込フォームURL

<https://secure.com-jtb.jp/ekiden2019>

宿泊斡旋に係わる問い合わせ

（株）JTB鳥取支店「日本海駅伝・くらし女子駅伝競走大会」宿泊斡旋デスク
〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町58番地 営業時間=9:30～17:30 休業日=土・日・祝日
TEL 0857-24-7185 FAX 0857-24-7228 E-mail tottori5@jtb.com

15. 昼 食 大会当日の昼食（弁当）が必要であれば主催者で準備する。同封の用紙で申し込むこと
一個600円（税込み、お茶付）
※大会当日、陸上競技場で弁当と引き換えに代金を清算する
16. 選手輸送 大会当日、全選手の配置と収容は、主催者が用意するバスで行うので必ず乗車すること
招集時間等については監督会議で説明する
集合時間等はプログラムに記載する
17. そ の 他 ①参加者は、各チームおよび個人の責任において健康管理を行う
②競技中の事故について、主催者側は応急処置のみ行うが、以後の処置については各チーム、
個人で責任を持つものとする（スポーツ傷害保険には一括加入する）
③発着点の倉吉市宮陸上競技場周辺は混雑が予想されるので、各出場チームには駐車券を送
付する

大会に関するお問い合わせ

〒682-8505 鳥取県倉吉市上井町1丁目156 新日本海新聞社中部本社内駅伝事務局
TEL 0858(26)8340、FAX 0858(26)8310、E-mail k-jigyo@nnn.co.jp
大会ホームページで今大会の情報、過去大会の様子もご覧いただけます
URL <http://www.nnn.co.jp/event/ekiden>

運営細目および監督・選手に対する注意事項

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走基準および本大会規定による

1. 出場選手について

- (1) 第1区走者より第7区走者のオーダー表を前もって提出し、最終変更のみを監督会議受付時に提出すること。なお、A、B2チーム出場する場合は、AからB、BからAの変更も認める
- (2) 監督会議後の選手変更は病気、ケガ等不慮の場合のみ、同一チームの補欠をその区間の交代として補充できる
- (3) 外国人留学生のエントリーについては2名以内とし、出場については6区の1名とする

2. 競技について

- (1) 選手は道路の中央線より左側を走らなければならない。右折交差点では誘導ライン（カラーコーン）より右に出てはならない。また中継所において、タスキを渡し終わった選手は速やかに左側へよること
- (2) 引き継ぎはタスキを用いる。タスキは第1区走者の第1次点呼（朝の受付時）に渡す。タスキは肩から斜めわき下へかけて走るものとし、肩にかけてないものは失格となる。ただし、引き継ぎ前100m、引き継ぎ後50mは手に持って走ってよいが、できるだけ速く肩にかけること
- (3) ナンバーカードは1人に2枚（区間番号入り）配布するので、ユニフォームの胸、背部にそのまま確実に付けること

※ナンバーカードについているチップ（記録計測器）は、競技終了後に中継所で回収する。チップを紛失した場合は、実費負担を求める

- (4) 車および人による伴走、飲食物補給その他、走者への援助を行うことは出来ない。伴走およびこれに類する行為があった場合は失格の対象となる
- (5) 第1区走者の出発時のコース順等は、監督会議までに大会事務局で決める
- (6) 出発に当たっては、10分前、5分前、1分前、30秒前をそれぞれ通告し、『用意』は呼ばず、「10秒前」と呼ぶ。出発合図はピストルを用いる。第1区走者は5分前にスタート地点に並び、少なくとも2分前に競技服装となる。スタートはウォーキングスタートとする
- (7) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走者を出発させる。この場合の出発時期は、最終順位の走者から1分後とし、オープン参加として取り扱う。その場合、総合記録は認められないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める
- (8) 各区間とも「中間点」「あと1km地点」の標示を出す。（3kmは中間点のみ）
- (9) レース中に生じた事故については、救急医療のみ大会本部で行う

3. 選手の招集、輸送について

- (1) 最終点呼は現地（各中継所）で行うが、応じない場合は失格とする場合がある
- (2) 選手は、中継所到着後からスタートまで時間があるので、中継所役員の指導によりウォーミングアップを行うこと。また、走り終わった選手は収容バスに遅れないように乗車すること。なお、選手の安全について

はあらかじめ指導しておきたい

(3) 選手の荷物は輸送しないので、次走者のものを着用する等、各チームで対応すること（貴重品等の管理は各チームで行うこと）

(4) 輸送バスの招集時刻および、選手の輸送計画はプログラムに記載する

4. 試走について

(1) 必ず交通ルールを遵守すること。特に「信号無視」、「車道走行」は厳禁。地域住民に迷惑がかかることは行わない

(2) 夜間・早朝は、安全タスキなどの反射材を着用することが望ましい

5. 大会当日の交通マナーについて

(1) コース上やその周辺道路への駐車、長時間の停車、無理な追い越しは行わない

※チーム関係者や応援者などへの周知徹底を。事故が起これば、大会が開催できなくなる場合がある